

# おひさま

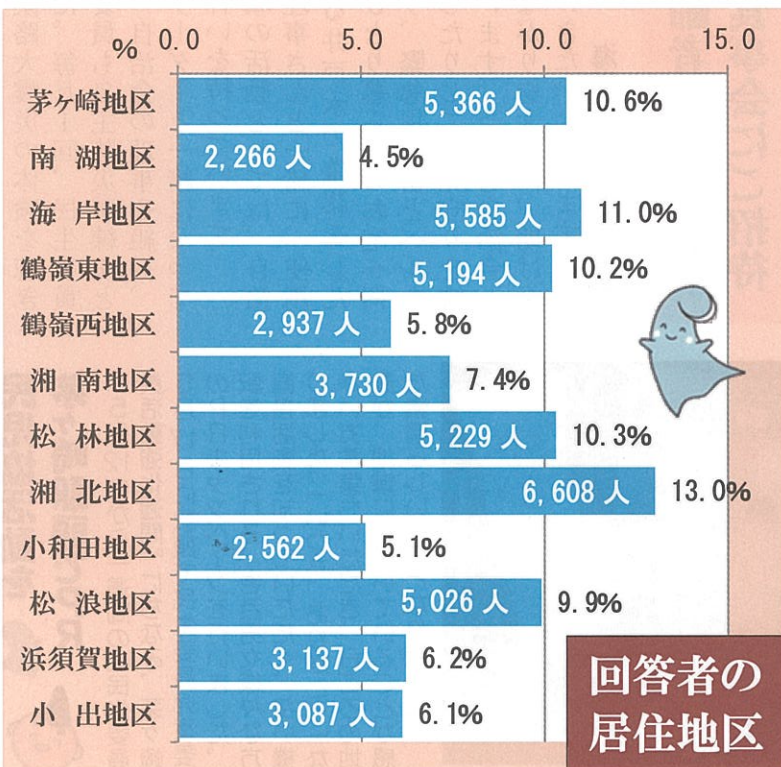
広げよう 地域に根ざした思いやり ～災害時一人も見逃さない運動～

第3号 2013・10・1

発行：茅ヶ崎市民生委員児童委員協議会  
 発行人：篠原 徳守/茅ヶ崎市民児協会長  
 編集人：木下 操/茅ヶ崎市民児協副会長  
 〒253-8686  
 茅ヶ崎市茅ヶ崎 1-1-1  
 茅ヶ崎市役所保健福祉課民児協事務局  
 ☎0467-82-1111

## 市の高齢化率 23.02%

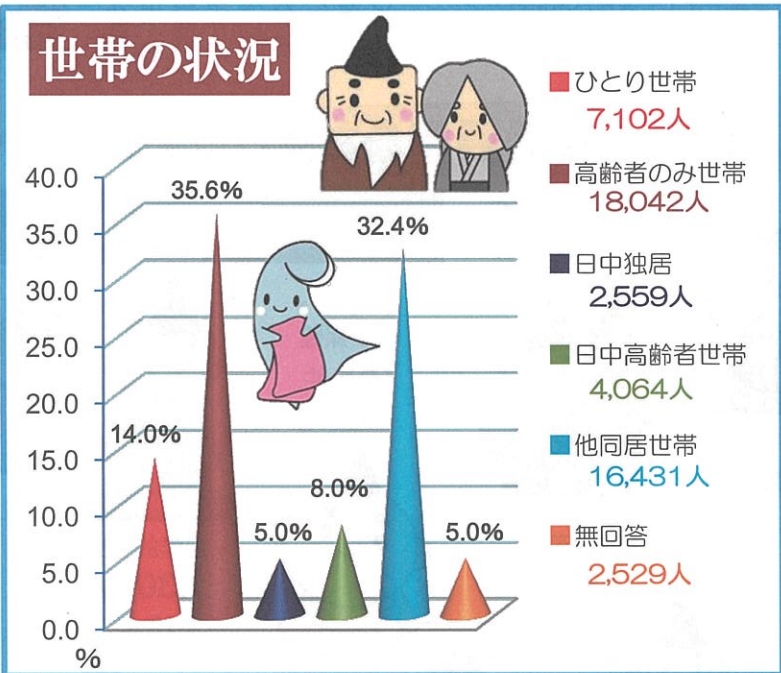
ひと目でわかる！ 昨秋実施『在宅高齢者実態調査』の集計結果



### 在宅高齢者実態調査

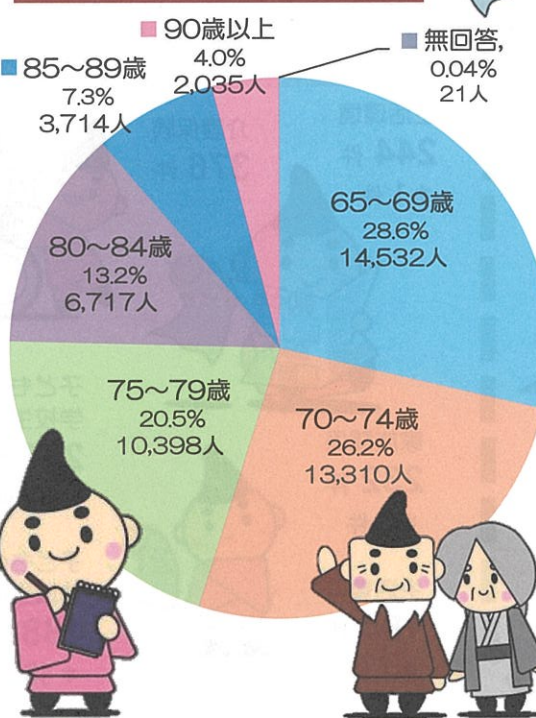
急激に高齢化(H25・8・1現在、高齢化率23.02%)が進む茅ヶ崎市では、65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等の状況を把握し、地域の見守り活動や、緊急時の対応等に活用するため、昨年秋に『在宅高齢者実態調査』を行いました。調査項目としては、対象者の基本属性・災害時や病気、けが等の緊急連絡先・災害時要援護者支援制度の登録状況等で、担当民生委員児童委員が訪問して、ご本人に直接面談・聴き取り調査を実施しました。この調査結果につきましては、今後の民生委員児童委員の活動はもちろん、高齢者福祉施策等の基礎資料として有効活用されます。

高齢者の居住地区は、湘北地区が最も多く、次いで海岸、茅ヶ崎と続いています。3年前の調査では、湘北、海岸地区の順位に変化はありませんが、次いで鶴嶺東地区となっていました。茅ヶ崎地区と高齢者人口が逆転した様子が見えられます。

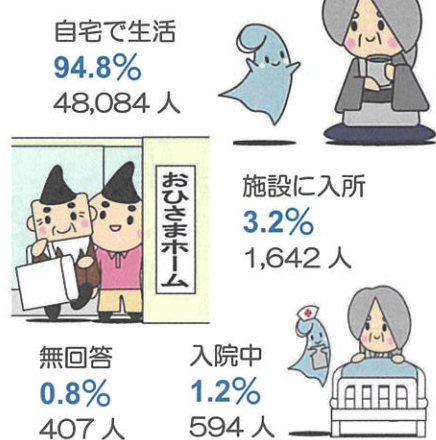


「ひとり世帯」が14.0%、「高齢者のみ世帯」が35.6%と、この2つを合わせた「65歳以上の高齢者のみの世帯」は実に49.6%に達します。「高齢者のみ世帯」は、ひとり世帯の予備軍といえ、「ひとり世帯」は、今後も増えることが想定されます。

### 回答者の年齢構成

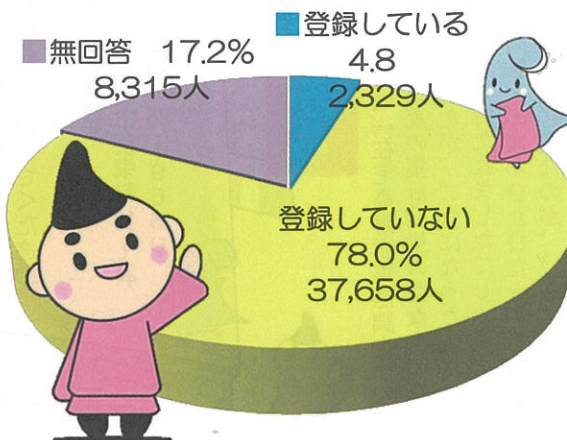


### 現在の状況



### 『災害時要援護者支援制度』登録状況

『災害時要援護者支援制度』に「登録している」は、4.8%(2,329人)、「登録していない」は、78.0%(37,658人)という結果が出ました。今後、同制度に登録する予定については、「登録したいと思う」(12.6%/4,753人)で、前回調査(18.7%/7,458人)と比べて2,705人減少しています。



### 思いやりの心で福祉のまちづくり 進む高齢化と私たちの取り組み

日頃は民生委員児童委員協議会の運営に對して格別のご指導、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年秋は、在宅高齢者実態調査にご協力を頂き、大変ありがとうございました。お陰様で回収率も95.9%と高く、皆様のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

調査時の茅ヶ崎市の人口239,000人

日頃は民生委員児童委員協議会の運営に對して格別のご指導、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年秋は、在宅高齢者実態調査にご協力を頂き、大変ありがとうございました。お陰様で回収率も95.9%と高く、皆様のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

調査時の茅ヶ崎市の人口239,000人

に対して、高齢者は52,900人で、高齢化率は22.1%でした。

また、団塊の世代の高齢者の仲間入りと共に上昇は加速し、4人に一人が高齢者になる日もそう遠くありません。調査結果から茅ヶ崎市内においても、少子高齢化、核家族化が進み、ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯が増加傾向にあることがうかがえます。

私たちは、高齢者の「住み慣れた地域で、引き続き安心して暮らしたい」という思いを

茅ヶ崎市民生委員児童委員協議会会長  
 篠原 徳守

大切に、民生委員児童委員が担当する地域の環境に合わせて、個別相談支援活動や友愛訪問、安否確認等を積極的に推進しています。

また、様々な課題が多様化する中で、地域福祉活動を進めるにあたり、私たちと地域包括支援センターや自治会、福祉サービス事業者、行政及び社会福祉協議会等とのネットワークの構築に努め、地域全体で高齢者や障がい者、そして子育て家庭等を見守る活動が重要になってくると思います。

私たち民生委員児童委員は、『民生委員法』で守秘義務が課せられており、市民からの相談に對して、他言することは一切ございませんので、安心してご相談ください。

民生委員児童委員に関するお問い合わせは、  
**市保健福祉課民児協事務局**  
 ☎0467-82-1111

\*上の集計結果は、『平成24年度茅ヶ崎市在宅高齢者実態調査報告書/発行・茅ヶ崎市』を基に構成しました。



# 民生委員児童委員の活動記録から

## 3年目に入った 「土曜勉強会」



鶴嶺西民児協では、地域の大事な子どもたちのために何かできないかという思いがありました。そうしたところ、勉強会の話が持ち込まれ、早速、実行委員会を立ち上げスタートさせました。

当初、4、5人だった子どもたちも現在では10人前後になり、活気のある会になっています。具体的には宿題やドリルを持ってきたり、勉強会が用意したプリントを解いたりしています。

平成23年7月にスタートした勉強会も3年目に入りました。子どもたちの名前と顔が一致し、課題も見えるようになり、丁寧な対応を心がけています。また、道路や学校行事などで出会った時に「勉強会のおばさん」と、声をかけられることもあり、良い関係ができています。

勉強会の役割は学習面だけでなく、こうしたところにもあると思いますし、継続して見守っていくことが大切かと考えています。浜之郷小学校の子どもたちがほとんどで、スタッフは民生委員10名、元教師など4名です。

＊毎週土曜日9:00～10:00  
『萩園いこいの里ふれあいルーム』で開催しています。  
鶴嶺西地区/佐藤 みつ

## 民生委員と自治会とのつながり



私の担当する東海岸南二丁目では、民生委員児童委員3名で自治会に参加協力しています。その中でも、自主防災会では、2年前の東日本大震災に学び、防災講演会を開き、

阪神淡路大震災の体験を聴きました。毎月1回、民生委員児童委員も自主防災訓練班として、自治会の理事や組長、防災リーダーと一緒に防災講話を持ち合わせています。

地域の活動としては、自治会の理事さんと一緒に、使用できる井戸水の確認をしたり、ひとり暮らしのお宅へ伺ったり、緊急用の笛とベルを配布したりして、見守りを続けています。今後も自治会とのつながりを大切に、助け合っていきたいと思っています。

海岸地区/山本 幸子

## 高齢者をお食事会にご招待



松林地区民児協では、地区社会福祉協議会に協力して、年に4回、75歳以上の高齢者の方をお食事会にご招待しています。

地区を4つに分け、1回に40～50人分の昼食を地区社協の役員、地区ボランティアさんと一緒に手作りして、召し上がっていただきます。軽い体操をしたり、歌つたりのお楽しみタイムもある、とても和やかなひとときです。

松林地区/斉藤 里子



→男性の民生委員も、慣れない手つきで食事作りや配膳に大忙しです。

## 民児協活動を 茅ヶ崎駅頭でPR



5月12日から一週間の「民生委員児童委員活動強化週間」にちなみ、茅ヶ崎市でも5月17日に駅頭で民生委員児童委員活動のPRキャンペーンを行いました。茅ヶ崎駅を利用される、若男女様々の方々に、直接活動を知っていただき、良い機会となりました。「いつも、ありがとうございます」など、温かい言葉もいただき、日ごろの地道な活動が、地域に根付いていることが感じられた素晴らしい一日となりました。



↑「民生委員児童委員です！」元気な声掛けとともに、ティッシュとチラシを配布しました。

## こんにちは赤ちゃん



私たち主任児童委員の活動の一つに「こんにちは赤ちゃん訪問」があります。これは市のこども育成相談課からの委託で、生後四か月までの赤ちゃん（第二子以降）を訪問する活動です。赤ちゃんとお母さんが毎日楽しく暮らせるように、近くにある遊び場や、子育ての相談ができる場所などの地域密着情報をお伝えしています。時にはちょっとした子育ての知恵などをお話ししたり、上のお子さんの遊び相手になったり、赤ちゃんとお母さんの笑顔から私たち自身が元気をもらいながら楽しく活動しています。身近な相談相手として、お子さんの健全な成長を見守っています。

松浪地区/五十嵐 優子

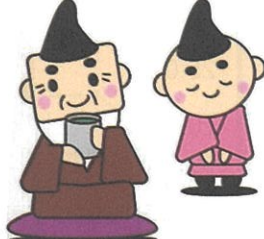
## 主任児童委員の活動



### 平成24年度、茅ヶ崎市の民生委員児童委員は、こんな相談・支援要請をお受けしました

#### 主な相談・支援件数(内容別)

子育て・母子保健  
768件  
\*627件



日常的な支援  
1,305件  
\*18件



★青数字の下の黒数字は、青数字中、主任児童委員が扱った件数を表します。

在宅福祉  
553件  
\*1件



健康・保健医療  
487件  
\*14件



介護保険  
376件



子どもの教育・学校生活  
237件  
\*62件

子どもの地域生活  
188件  
\*49件



生活環境  
244件  
\*1件



家族関係  
232件  
\*5件

生活費  
184件  
\*1件

子ども関連  
1,305件



その他  
634件

合計  
5,694件

高齢者関連  
3,371件



障がい者関連  
384件

#### 相談・支援件数(分野別)

## 市社協 短信

茅ヶ崎市社会福祉協議会(通称・市社協)は、ボランティア活動や地域住民による福祉活動を支援し、「すべての人が、住み慣れた地域で安心して暮らすことのできるまちづくり」を進めている民間の団体で、地域の福祉向上を図るために、さまざまな活動に取り組んでいます。

また、民生委員児童委員のご協力を得て、生活福祉資金貸付事業や法外援助事業を行なっています。その他にも各種福祉サービス利用支援等の相談事業や在宅福祉サービス等を実施しています。福祉に関するご相談は、どんなことでも随時お受けしていますので、お困りがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

◎市社協連絡先  
茅ヶ崎市新栄町13-44  
電話 85-9650

## 編集室から

＊昨今の今頃は、「在宅高齢者実態調査」の真最中でした。調査の集計結果の主なものを1面に掲載しましたが、ご覧になった皆様は、どんな感想を持たれましたでしょうか。

＊深刻な高齢化の波がひたひたと押し寄せています。今こそ必要なのが、「お互いの顔が見えるおつき合い」です。お互いに寄り添い助け合う、温かい関係づくりを、私たち民児協は活動目標の一つにしています。秋のおひさまのような、温もりのあるおつき合いができるまちづくりを目指しましょう。皆様のご理解とご協力を宜しくお願いします。

＊秋は台風の時節でもあります。民生委員児童委員一同、「災害時一人も見逃さない運動」をより積極的に推進してまいります。

＊民生委員児童委員活動に関心をお持ちの方より詳しい活動内容をお知りになりたい方は、(市役所保健福祉課民児協事務局 電話82-1111)までお問い合わせください。 木下 操(鶴嶺東)

《編集制作》民児協ちがさき広報委員会  
白井愛子(海岸)、早川正(鶴嶺西)、小澤登代子(松林)、八幡弘徳、溝部きみ子(小和田)、黄木寺風(鶴嶺東)、市保健福祉課・中原真紗美(事務局)